

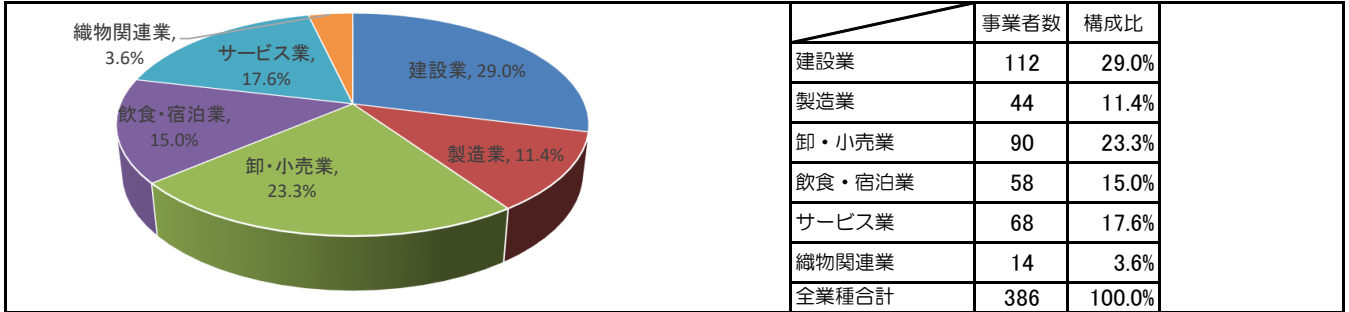
十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R4.7.1~R4.9.30) 会議所地区

小規模事業者以外含む全事業所

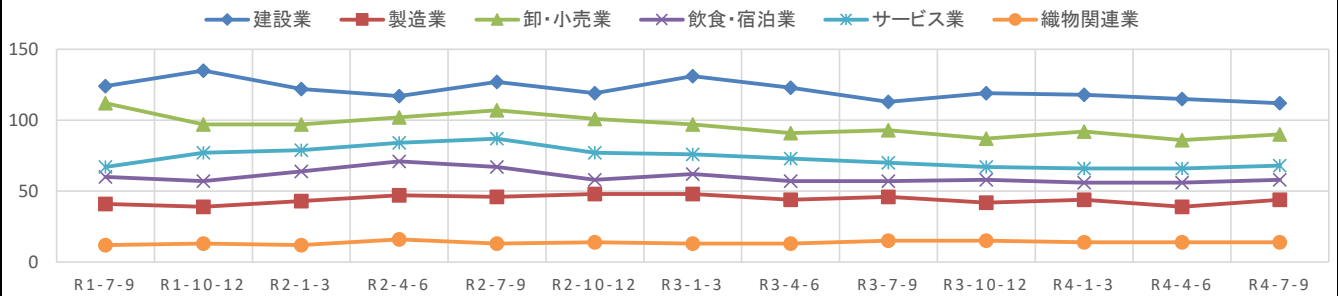
◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

端数処理の都合上、集計値の合計が必ずしも100%にならない場合がある

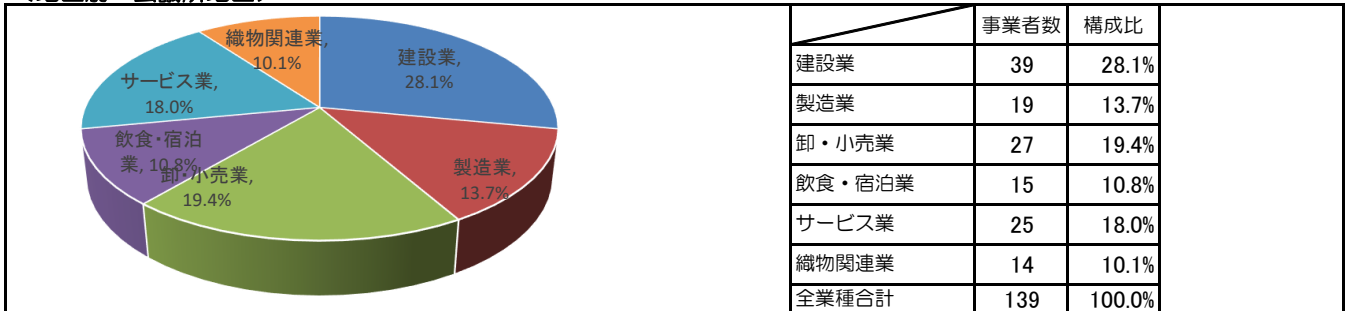


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

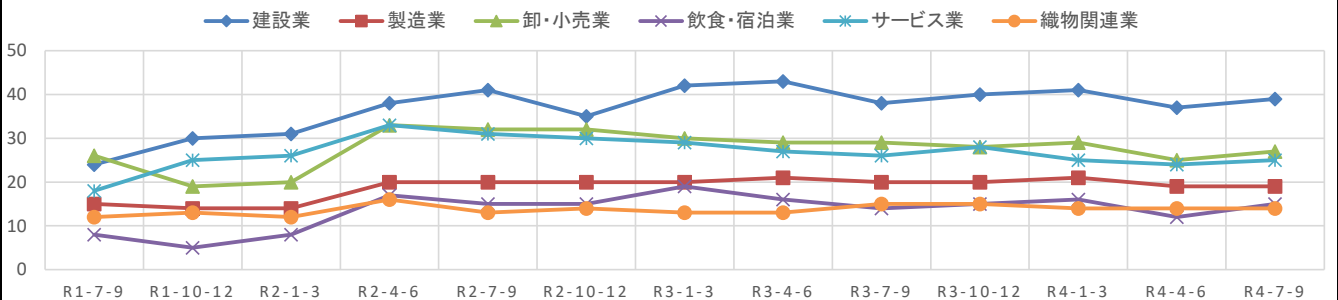


<コメント> 今回の調査は、十日町市内386事業所から回答を得られ、前回調査よりも10事業者増加している。建設業において減少があったものの、その他の業種については増加となった。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



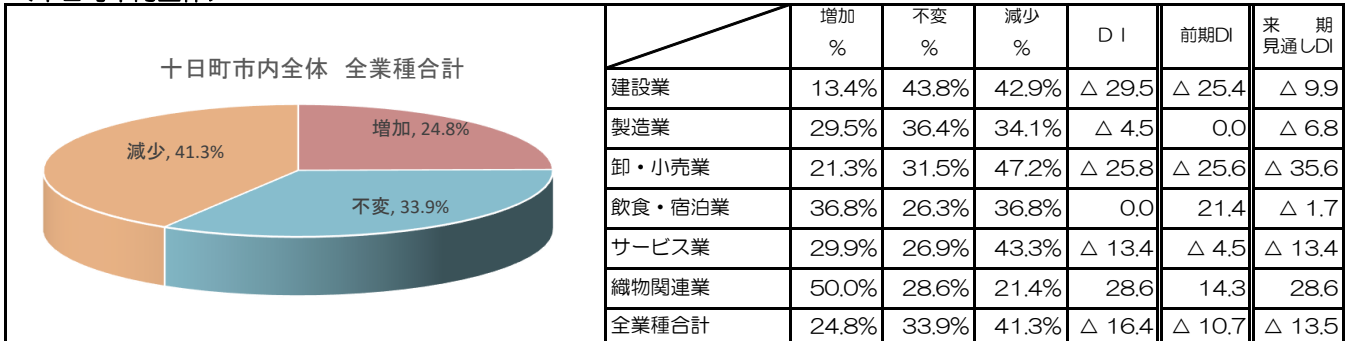
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布190事業所のうち139事業所からの回答があり、回収率は73.2%であった(前回:回答事業所131事業所、回収率68.9%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

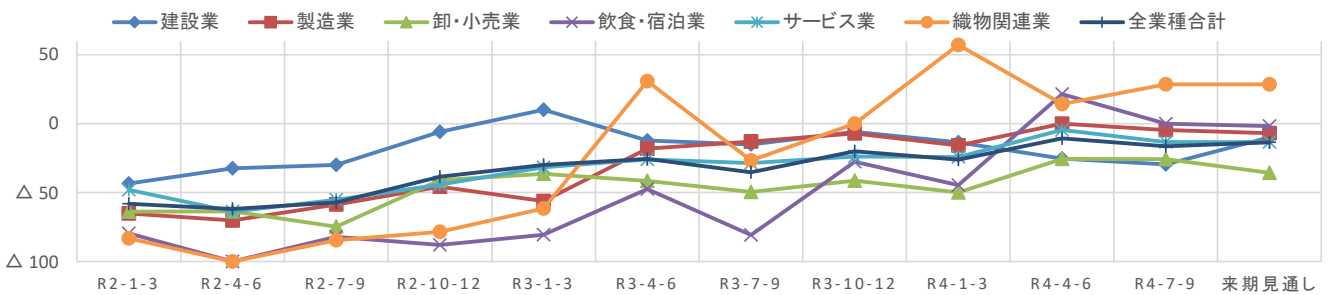
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

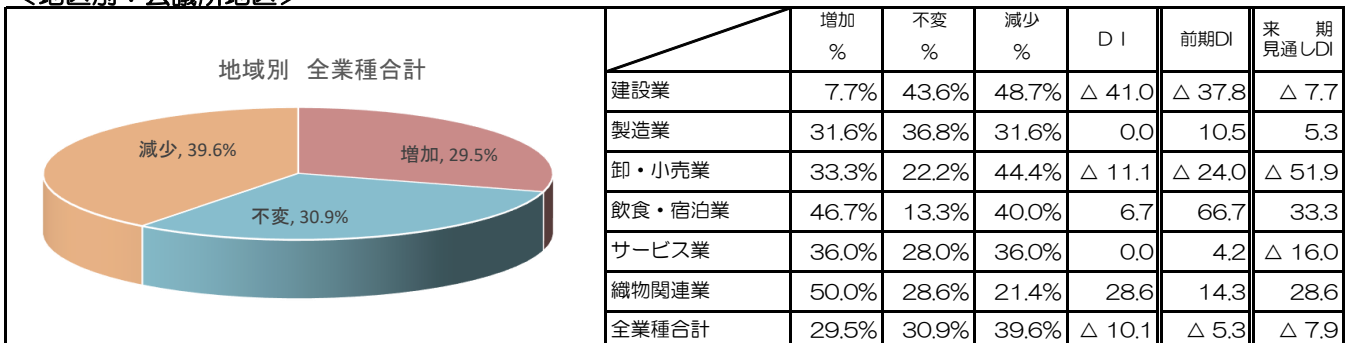


業種別売上の推移(市内全体)

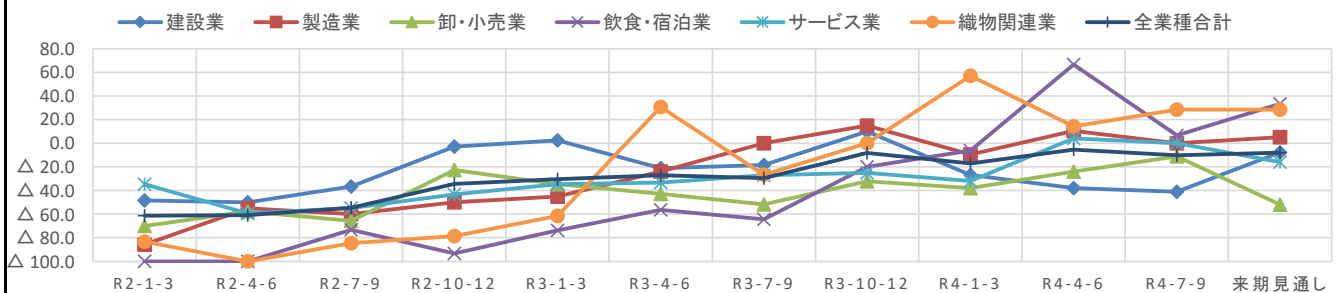


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△16.4ポイントで、前回調査時よりも5.7ポイント減少となっている。全業種においてDI値が減少した。来期見通しでは建設業は増加予想、その他の業種は減少もしくは不変予想となり、全業種DI値は若干改善される見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移(地区別)

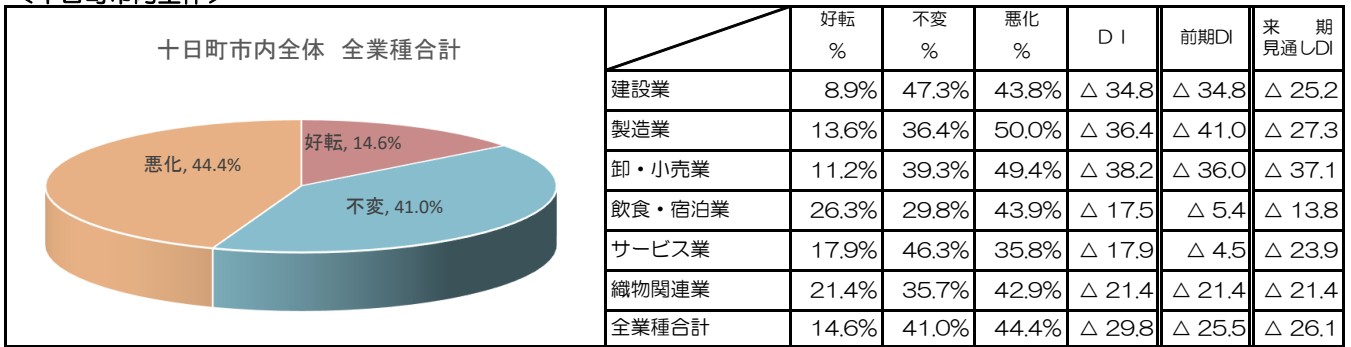


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△10.1ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント低下となっている。業種別に見ると、卸・小売業と織物関連業が上昇したが、その他の業種は低下しており、飲食・宿泊業は前期比60.0ポイント減と大きく低下している。来期見通しでは卸・小売業とサービス業が低下、織物関連業は横ばい予測だが、その他の業種は上昇予測となっており、全業種DI値においても若干改善の見通しである。

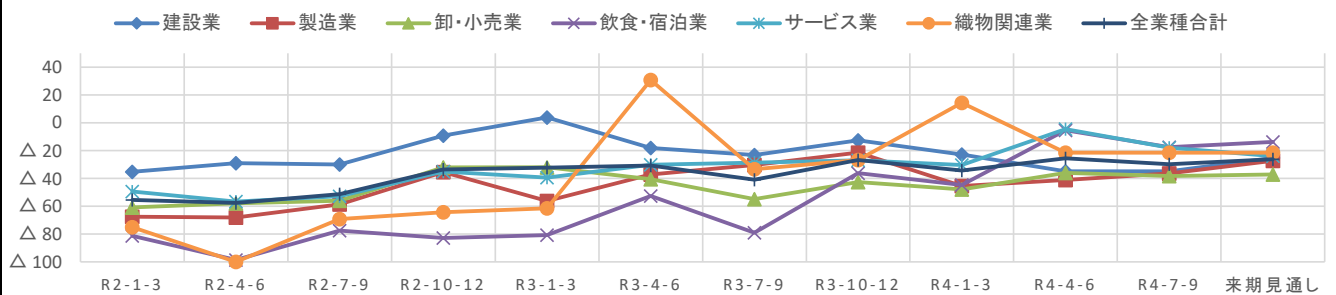
## 2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>

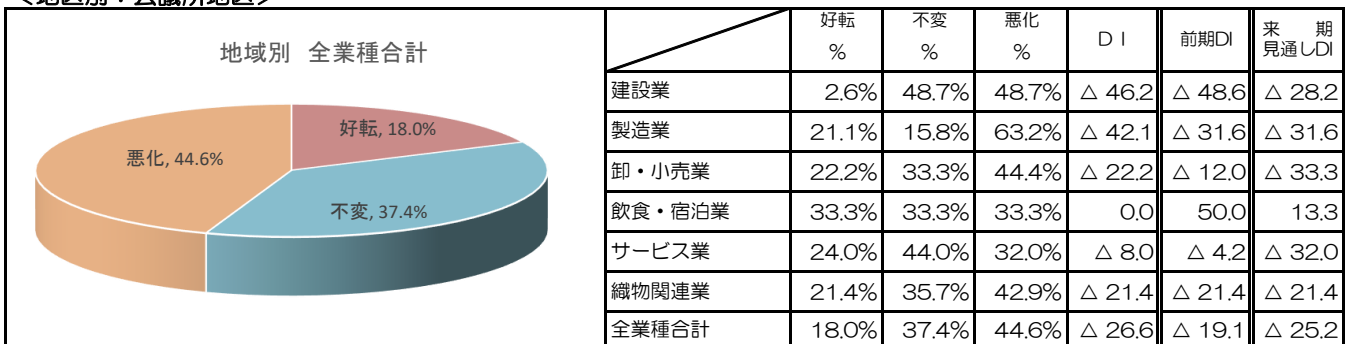


### 業種別採算の推移(市内全体)

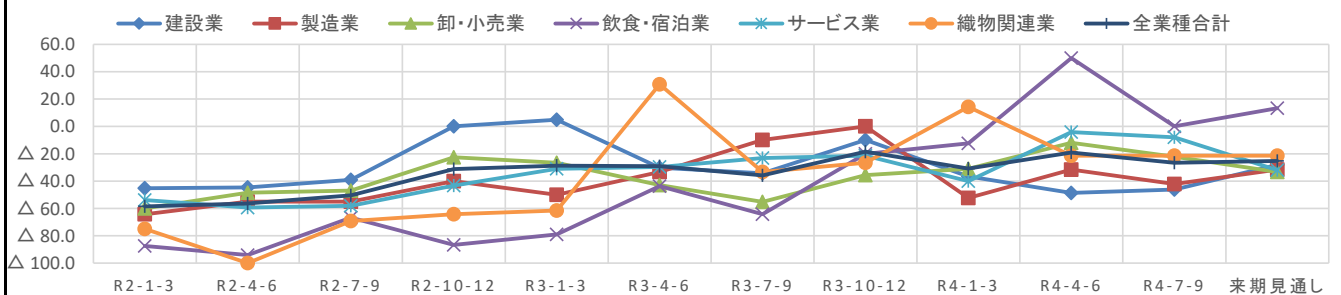


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△29.8ポイントで、前回調査より4.3ポイント悪化している。原料、燃料の高騰の影響が大きいと思料され、特に飲食・宿泊業、サービス業での悪化が目立った。来期見通しでは、サービス業以外の業種において好転予測となり、全業種DI値においても好転する見通しとなる。

### <地区別：会議所地区>



### 業種別採算の推移(地区別)

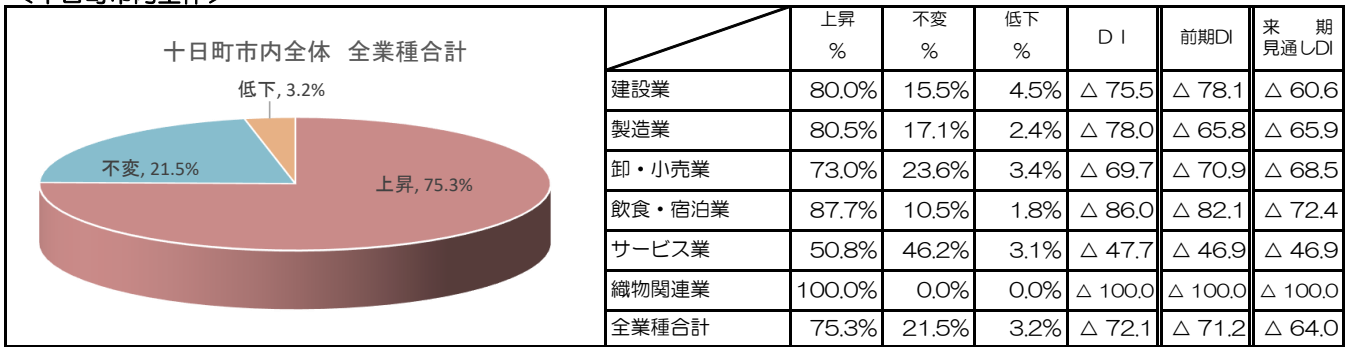


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△26.6ポイントで、前回調査時よりも7.5ポイント悪化となった。業種別に見ると、建設業が好転し、織物関連業が横ばいだが、その他の業種は悪化している。来期見通しでは卸・小売業とサービス業が悪化、織物関連業が横ばい、その他の業種は好転が予測され、全業種DI値においてはわずかに好転の見通しとなっている。

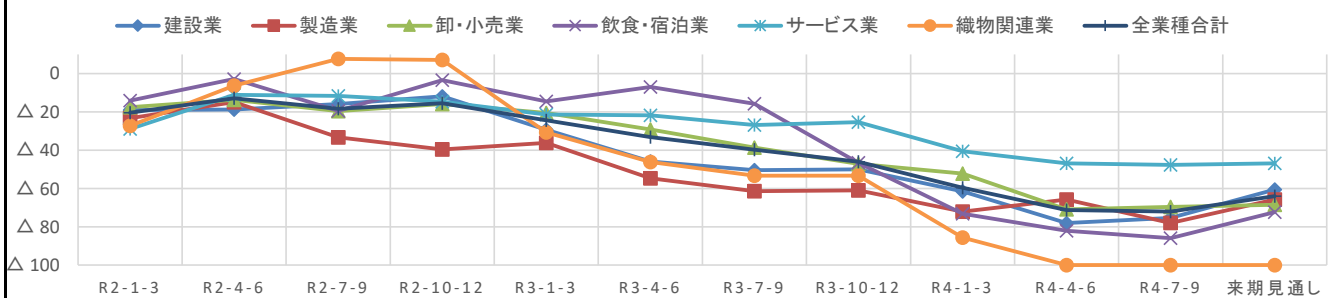
### 3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>

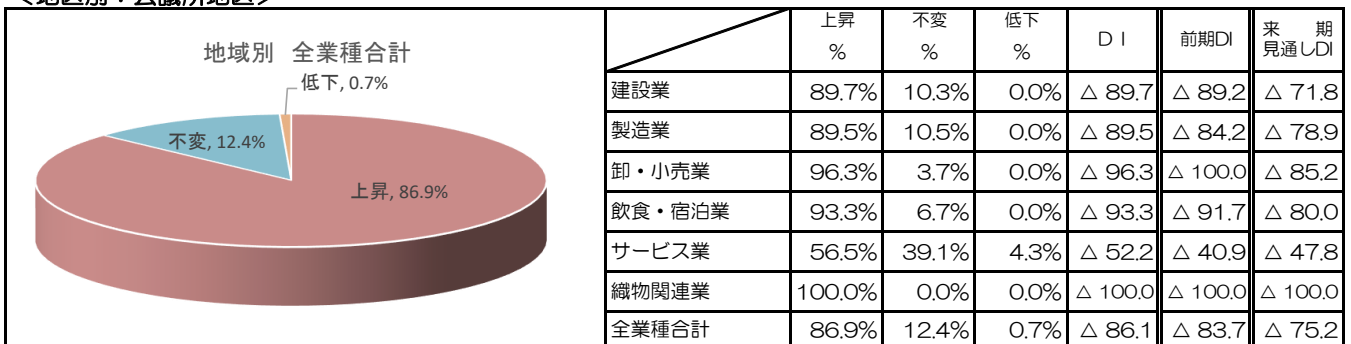


#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)

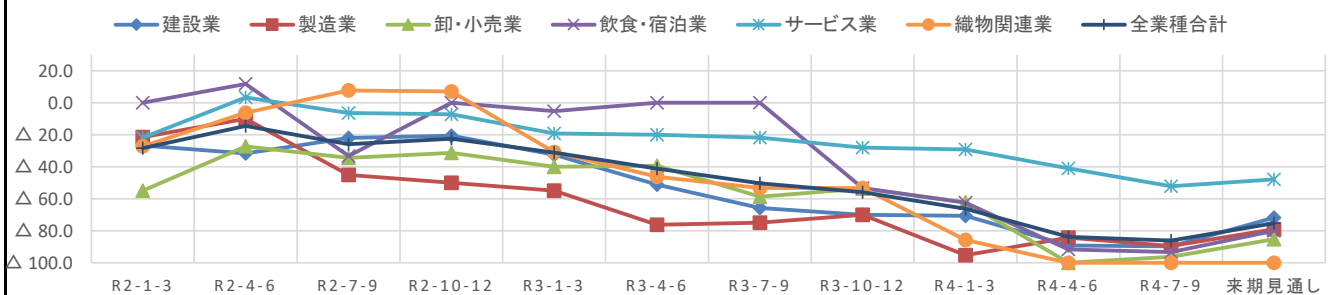


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△72.1ポイントで、前回調査時よりも0.9ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。建設業と卸・小売業以外の業種において上昇しており、原料・燃料高騰の影響が続いていると予想される。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、以前として動向には、注視する必要がある。

#### <地区別：会議所地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)

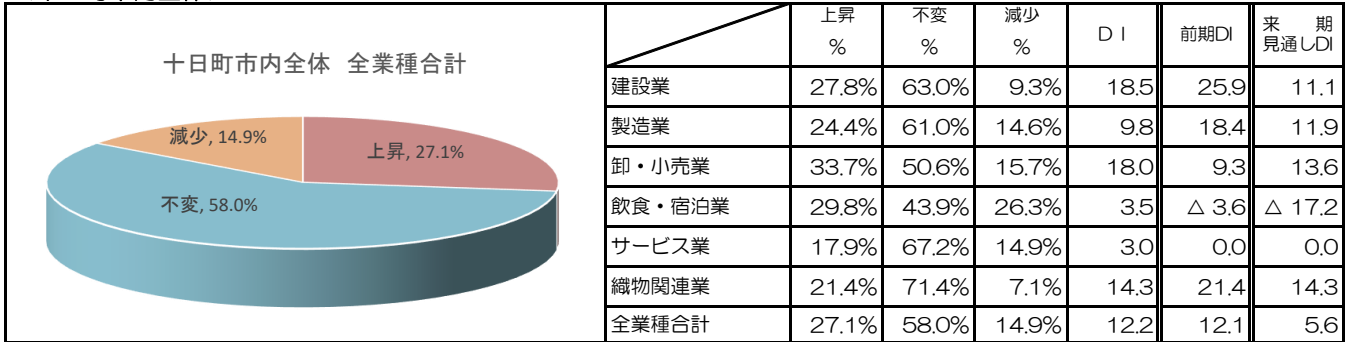


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△86.1ポイントで、前回調査時よりも2.4ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。業種別に見ると、卸・小売業（前期比△3.7ポイント）のみ仕入単価低下が見られるが、織物関連業の全企業の回答が上昇で横ばい、その他の業種は仕入単価上昇となった。来期見通しでは、織物関連業が見通しでも全企業の回答が上昇で、その他の業種では低下予測となり、全業種DI値においては低下の見通しとなっている。

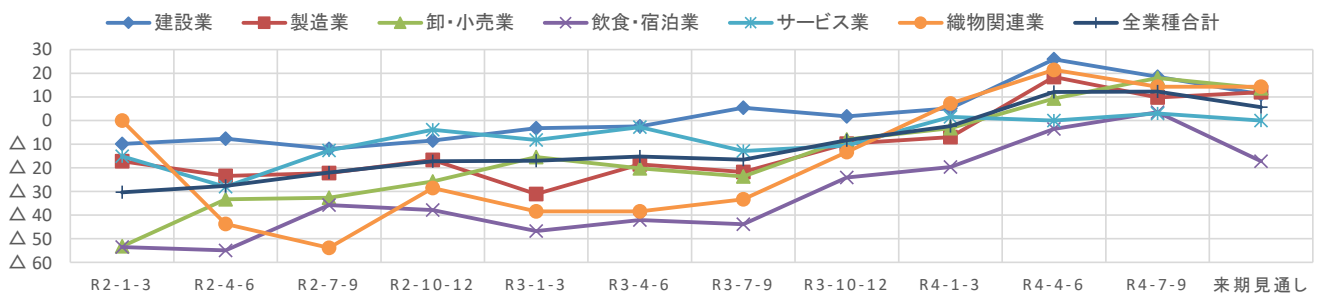
#### 4. 販売（客）単価について

- ・ 7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>

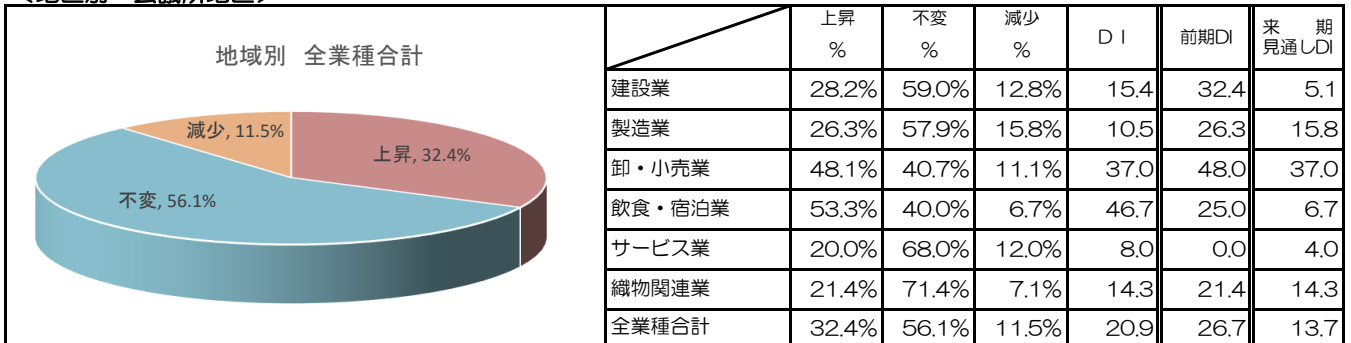


#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

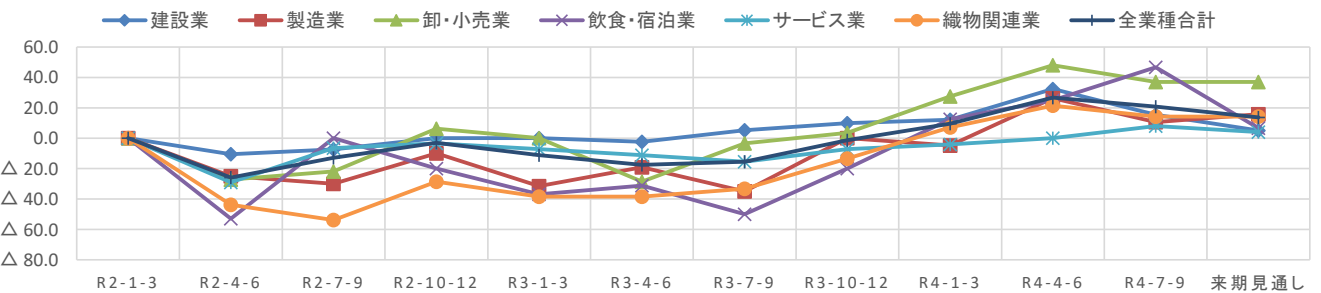


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で12.2ポイントで、前回調査時より0.1ポイント上昇している。建設業と製造業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種で低下予測となり、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

##### <地区別：会議所地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）

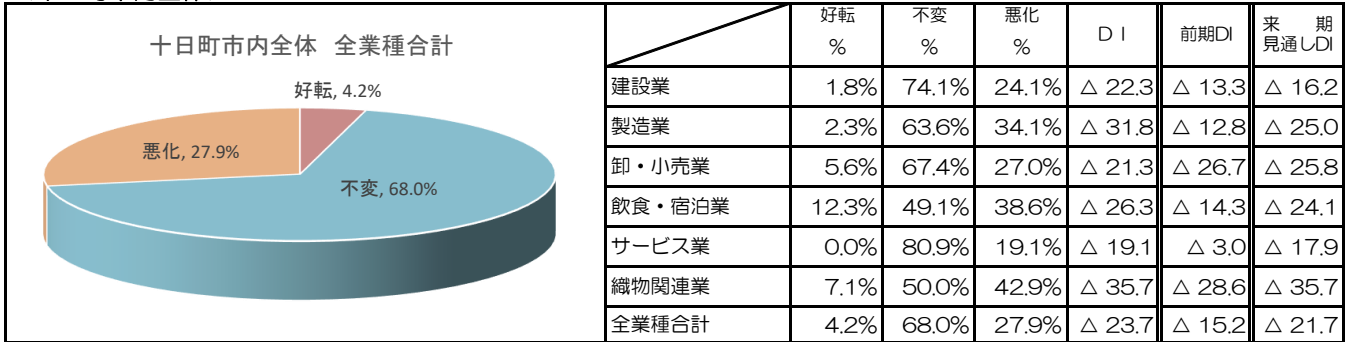


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が20.9ポイントで前回調査時より5.8ポイント減少している。業種別に見ると飲食・宿泊業とサービス業が上昇し、その他の業種は減少となった。来期見通しでは、製造業で上昇、卸・小売業と織物関連業で横ばいとなっている。その他の業種DI値は低下予測となり、全業種DI値においては低下の見通しとなっている。※会議所地区では、R2.4-6月期から販売（客）単価の状況について項目を設けた。

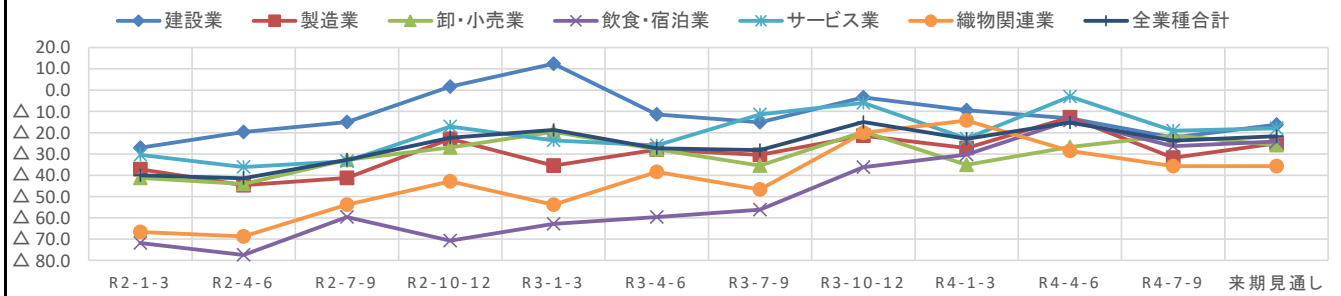
5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

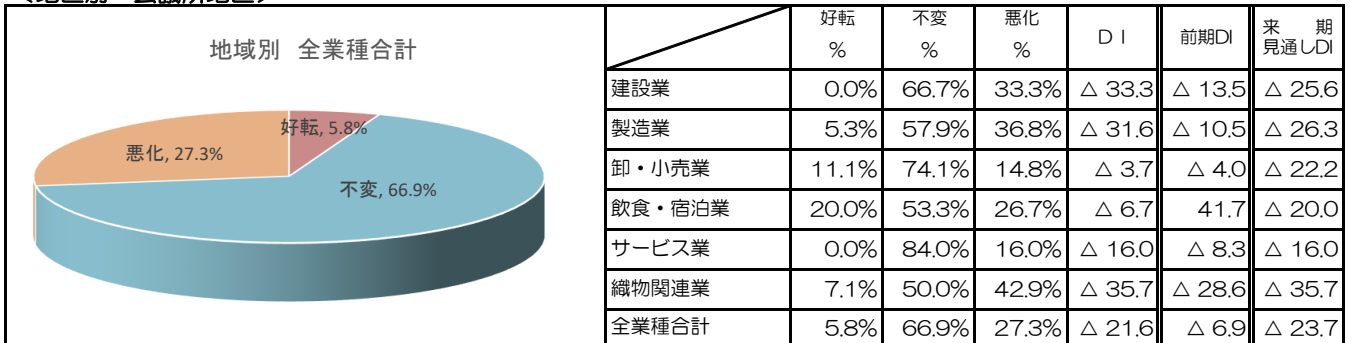


業種別資金繰りの推移(市内全体)

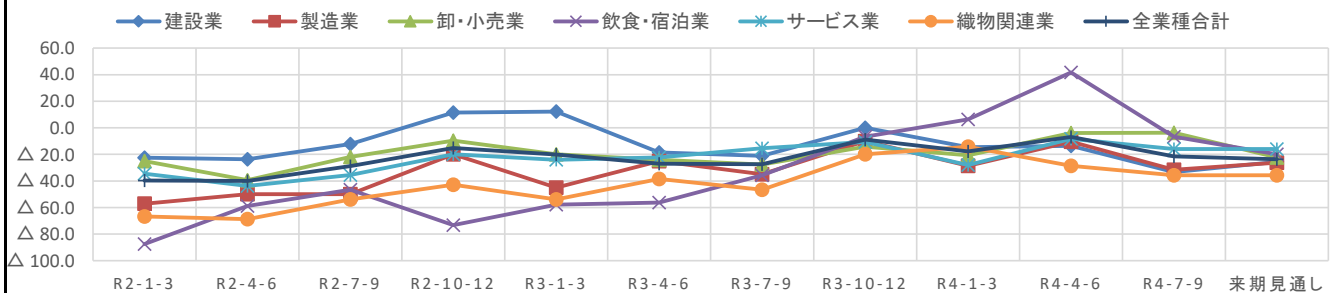


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△23.7ポイントで、前回調査時より8.5ポイント悪化している。卸・小売業以外の業種で悪化という形となった。来期見通しとしては、卸・小売業以外の業種で改善予測となり、全業種DI値についても改善する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

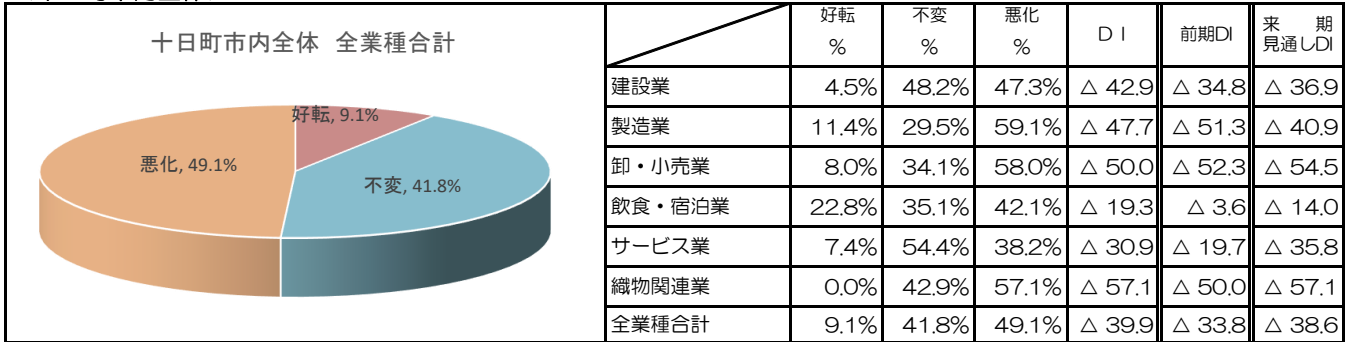


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△21.6ポイントで、前回調査時よりも14.7ポイント悪化している。業種別に見ると、卸・小売業がわずかに好転しているが、その他の業種は悪化している。来期見通しにおいては、建設業と製造業が好転、卸・小売業と飲食・宿泊業が悪化し、サービス業と織物関連業で横ばいの予測となり、全業種DI値については悪化する見通しとなる。

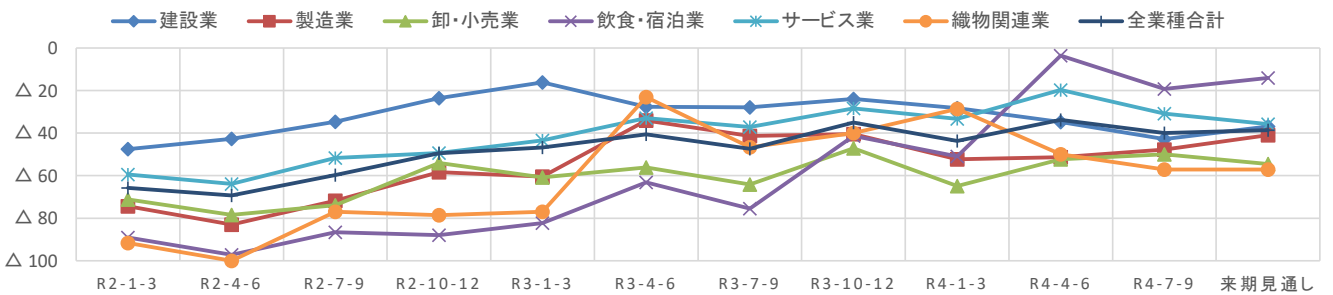
6. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

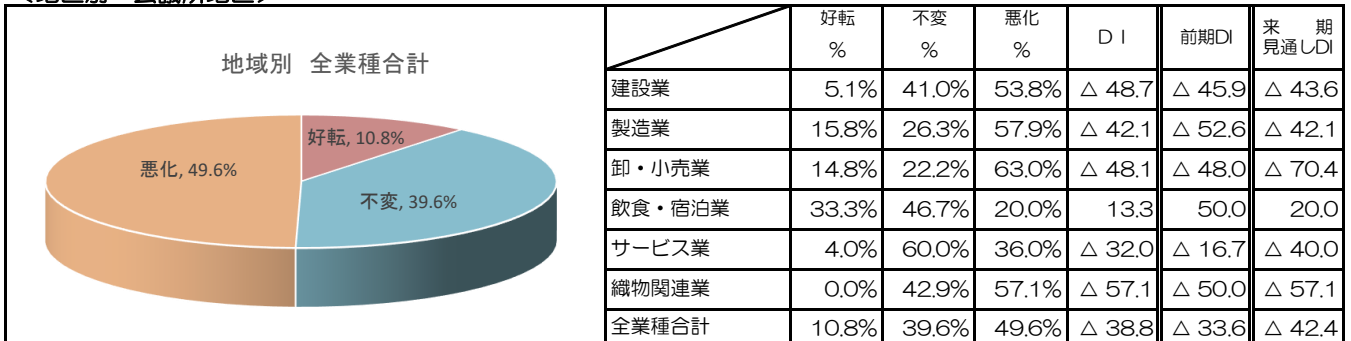


業種別景況判断の推移(市内全体)

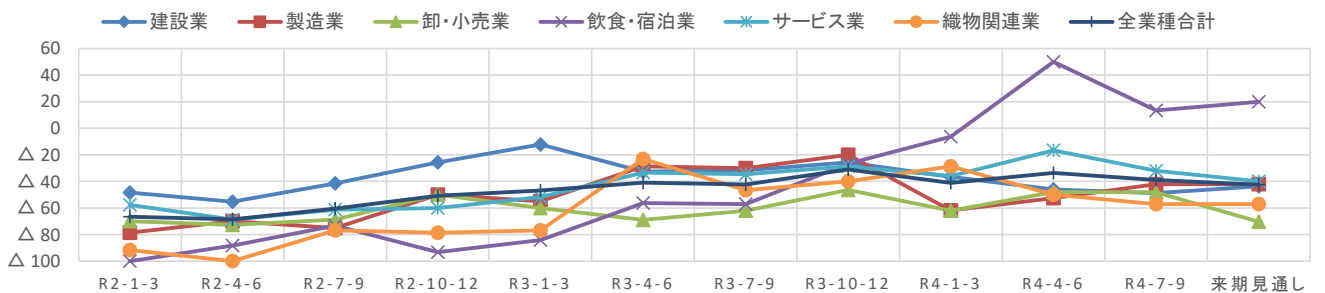


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△39.9ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント悪化している。製造業と卸・小売業以外の業種で悪化が見受けられ、引き続き原料・燃料の高騰の影響が尾を引いていると予想される。来期見通しは、卸・小売業とサービス業以外で好転予測となり、全業種DI値についても若干好転する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

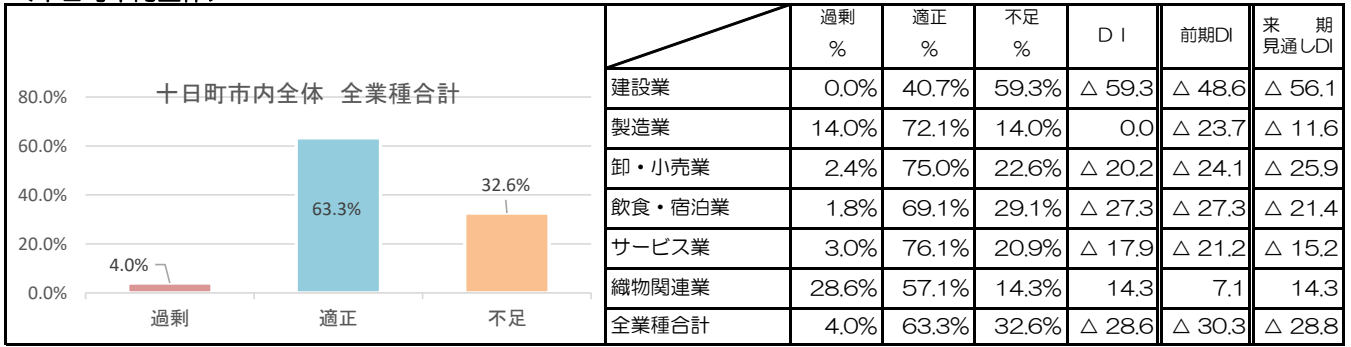


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△38.8ポイントで、前回調査時よりも5.2ポイント悪化している。業種別に見ると、製造業（前期比10.5ポイント増）で改善したが、その他の業種では悪化している。来期見通しでは、建設業と飲食・宿泊業が好転予測、製造業と織物関連業が横ばい、その他の業種が悪化予測され、全業種DI値については悪化する見通しとなる。

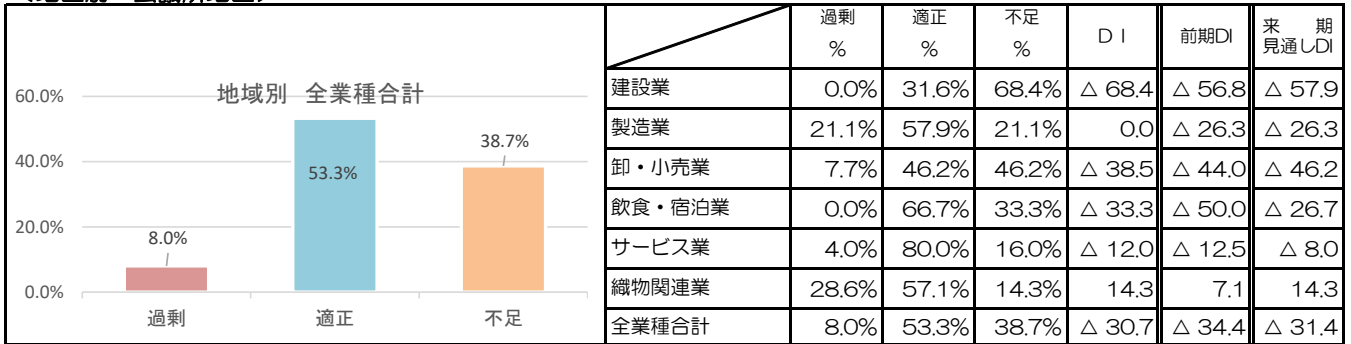
7. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

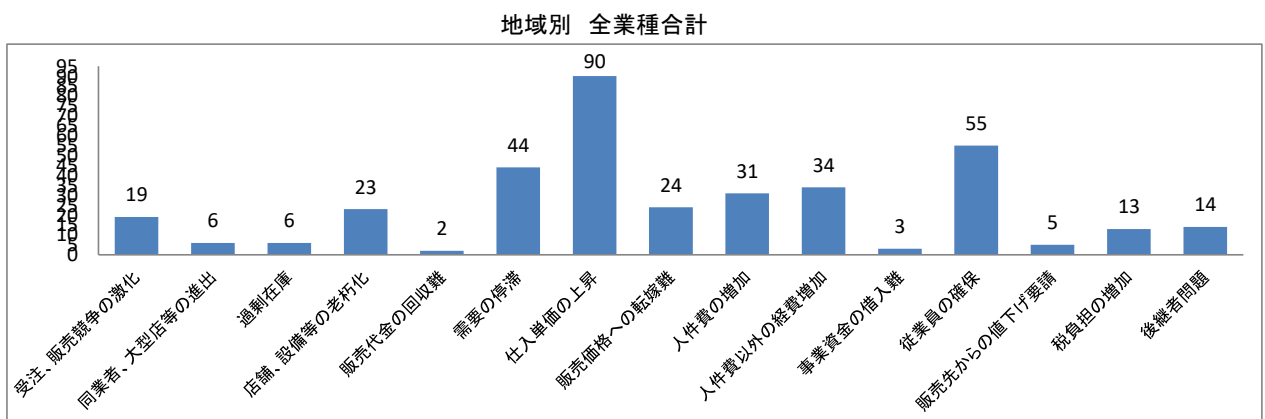
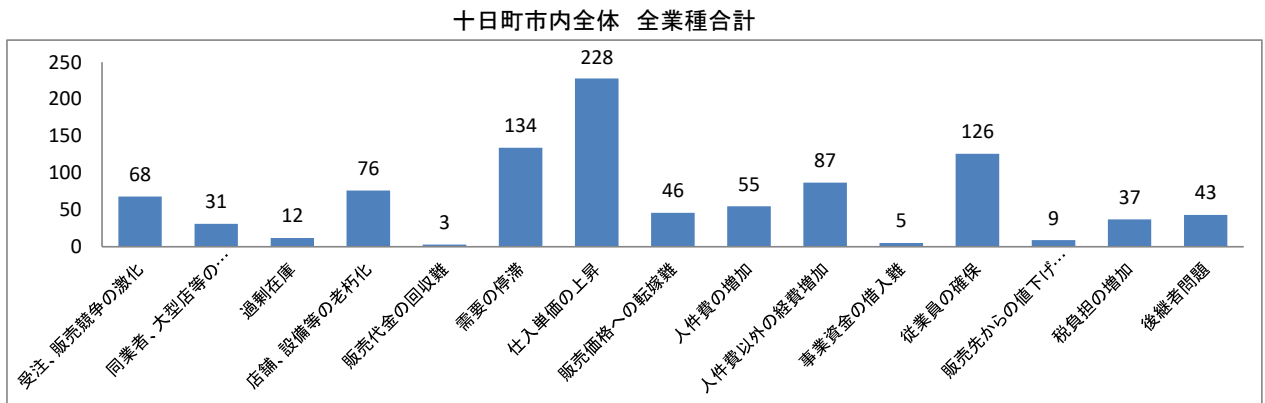


<地区別：会議所地区>



<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.2%増加し、不足回答が0.5%前回調査時よりも減少している。会議所地区の状況は、全業種合計では適正回答が一番多いものの、建設業においては過剰回答が0件、68.4%が不足と回答している。飲食・宿泊業でも過剰回答が0件であった。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：7月～9月



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、上位3項目の変動はなかった。会議所地区の経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位が「従業員の確保」、3位が「需要の停滞」となっている。



## 9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p><b>【建設業】</b> 今期の建設業の状況は、採算が好転しているが、その他はすべて悪化となった。従業員数においては過剰回答が0件に対し68.4%が不足回答となっている。来期見通しにおいては販売(客)単価以外の項目は好転の見通しとなっている。経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多く回答されている。</p>
<p><b>【製造業】</b> 今期の製造業の状況は、景況判断と従業員数は好転し、その他は悪化している。来期見通しにおいては従業員数の不足が予測されるが、景況判断は横ばい、その他は好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。</p>
<p><b>【卸・小売業】</b> 今期の卸・小売業の状況は、採算、販売(客)単価、景況判断が悪化し、その他は好転している。来期見通しにおいては仕入単価は低下予測、販売(客)単価は横ばいの予測だが、その他は悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「店舗、設備等の老朽化」「従業員の確保」の順に多く回答されている。</p>
<p><b>【飲食・宿泊業】</b> 今期の飲食・宿泊業の状況は、販売(客)単価、資金繰り、従業員数は好転しているが、その他は悪化している。なかでも売上は前期比より60.0ポイントの減少となっている。来期見通しにおいては販売(客)単価、資金繰りが悪化の予測ではあるが、その他については好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。</p>
<p><b>【サービス業】</b> 今期のサービス業の状況は、販売(客)単価、従業員数は好転しているが、その他は悪化している。来期見通しにおいては仕入単価と従業員数が好転予測、資金繰りが横ばい予測ではあるが、その他については悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「需要の停滞」「仕入単価の上昇」が多く回答されている。</p>
<p><b>【織物関連業】</b> 今期の織物関連業の状況は、売上と従業員数が好転し、採算と仕入単価が横ばい、その他は悪化となった。特に仕入単価においては100%が上昇と回答している。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」の順に多く回答されている。</p>